

2006年度「人口学」レポート課題

6回の講義のうち4回以上出席した履修者にレポートを提出する資格があります。

1～3の課題から2題、4～6の課題から1題を選択して、それぞれ適切な分量で回答しなさい。提出先は医学部3号館6階S602の入り口右側にある箱、締切は2月16日（金曜）です。質問があれば、梅崎まで遠慮なくどうぞ。

<課題>

1. データが入手可能な期間（できるだけ昔までさかのぼること）の日本人口について、老年人口指数、年少人口指数、従属人口指数を計算し、横軸に時間（年）、縦軸に人口構造指標をとった図を作成せよ。その図を参照しながら、過去から現在にかけて日本はどのような人口構造の変化を経験してきたか述べなさい。データの入手については、1回目の授業で配布した講義資料を参考にする事。（出題：梅崎）
2. 日本の都道府県のひとつを選んで、粗出生率と合計出生率（TFR）を計算しなさい。計算に用いたデータと、計算のプロセスを示すこと。（出題：梅崎）
3. 間接法による死亡率の標準化と、直説法による死亡率の標準化の違いを説明しなさい。（出題：梅崎）
4. アラブ・イスラーム社会における出生規範および人口問題について以下のキーワードを5つ以上用いて述べなさい。＜人口増加率、従属人口指数、再生産の解釈、女性の地位、コーラン、ハディース、避妊、自然出生力（順不同）＞（出題：末吉）
5. 授業で紹介したインドネシアにおける人口問題の事例を、以下の単語を全て用いて説明しなさい。＜出生力 出産間隔 初婚年齢 家族計画 子どもの死亡 子どもの価値＞（出題：関山）
6. 授業中で紹介したように、人口学ではさまざまな数理モデルが用いられているが、数理モデルをどれか1つ選んで実際の人口データへのあてはめを行いなさい。その結果に基づきながら、人口学において数理人口学の果たす役割について感想を述べなさい。講義サポート <http://phi.med.gunma-u.ac.jp/demography/mathdemo.html>（出題：中澤）